

平成 23 年度老人保健事業推進費等補助金
老人保健健康増進等事業

**認知症介護における研究成果の総括および普及促進に関する
研究事業報告書**

平成 24 (2012) 年 3 月

**社会福祉法人東北福祉会
認知症介護研究・研修仙台センター**

はじめに

認知症介護研究・研修仙台センターでは、平成23年度老人保健健康増進等事業による補助を受け「認知症介護における研究成果の総括および普及促進に関する研究事業」を実施しました。

平成12年に策定されたゴールドプラン21における認知症高齢者対策の一環として設立された3箇所の認知症介護研究・研修センターは、認知症介護の実践的研究および認知症介護専門家の養成を主な目的とし、医療・保健・福祉のみならず心理学、社会学、工学、理学、建築学、栄養学等の多様な見地から、介護実践に還元可能な研究を推進してきました。創設より12年目を迎えた現在、認知症介護に関する研究成果は相当数に上っています。また、我が国においても、高齢者福祉、老年学関連の学術論文を集積しているダイヤ高齢社会研究財団による社会老年学文献データベースによれば、認知症介護をテーマとした研究文献は1,000件を上回り、国内における様々な専門領域においても認知症介護に関する研究は年々増加し、質量ともに著しい発展が伺えます。

しかし、そのような中、研究方法や研究成果に関する信頼性や普遍性、妥当性など科学的精度の問題や、多分野における膨大な研究成果が散在し、研究知見の体系化と整理の遅延等が指摘され、研究成果の活用や、活用促進のための体系化および情報公開と普及の促進が必要とされています。そして、今般、改正された介護保険法におきましても、認知症対策の推進について国、地方公共団体が認知症に関する調査研究の推進に努めることが明記されています。

そこで当センターでは従来から医療、保健、福祉のみならず、多分野において蓄積されている認知症介護に関する研究成果を収集整理し、多角的な分析によって認知症介護研究の現状と課題について検討しました。さらにそれらの結果を踏まえ、認知症介護に関する研究文献のデータベースを開発、公開しました。認知症介護対策に関連する自治体担当者、関係団体、研究者、介護実践者、広く一般の方々におかれましても、認知症介護に関する研究計画の立案、認知症介護技術の向上、介護実践への活用にむけ、また認知症者の生活向上のために少しでもお役だていただければ幸いです。

本研究にご協力いただきました関係者の皆様、特に全国の都道府県、市町村、東京23区の高齢者福祉担当の皆様、関連事業団体のご担当者様、検討委員の皆様、研究協力者の皆様、各学術団体のご担当者様には深くお礼を申し上げます。

認知症介護研究・研修仙台センター
センター長 加藤 伸司

目次

| | |
|------------------------|-----|
| I. 目的 | 1 |
| II. 方法 | 2 |
| 1. 検討委員会の設置と開催 | 2 |
| 1) 設置目的 | 2 |
| 2) 委員構成 | 2 |
| 3) 開催回数、時期、場所及び検討内容 | 2 |
| 2. 認知症介護研究の総括 | 5 |
| 1) 研究文献の総括 | 5 |
| (1) 目的 | 5 |
| (2) 実施期間 | 5 |
| (3) 研究協力者 | 5 |
| (4) 方法 | 5 |
| ①対象文献の収集 | 5 |
| ②文献分類 | 8 |
| ③認知症介護研究に関する傾向分析 | 14 |
| 2) 研究報告書の総括 | 17 |
| (1) 目的 | 17 |
| (2) 実施期間 | 17 |
| (3) 方法 | 17 |
| ①対象文献の収集 | 17 |
| ②文献分類 | 17 |
| 3. 認知症介護研究データベース開発及び普及 | 17 |
| 1) 目的 | 17 |
| 2) 実施期間 | 17 |
| 3) 方法 | 17 |
| III. 結果 | 18 |
| 1. 研究論文総括 | 18 |
| 1) 全体の傾向と課題 | 18 |
| (1) 全体傾向 | 18 |
| ①認知症介護研究の内容に関する傾向 | 18 |
| ②認知症介護研究の方法に関する傾向 | 27 |
| ③研究対象者の傾向 | 41 |
| (2) 研究内容別傾向 | 48 |
| ①BPSD | 48 |
| ②身体介護 | 55 |
| ③コミュニケーション | 62 |
| ④ターミナルケア | 69 |
| ⑤予防 | 76 |
| ⑥地域関連 | 83 |
| ⑦権利擁護 | 90 |
| ⑧虐待 | 96 |
| ⑨療法 | 102 |
| ⑩アクティビティ | 109 |
| ⑪リスクマネジメント | 116 |
| ⑫環境支援 | 123 |
| ⑬相談、ケアマネジメント | 131 |
| ⑭制度・システム | 138 |
| ⑮生活支援・ケア全体 | 145 |
| ⑯グループホーム | 152 |
| ⑰施設ケア | 159 |
| ⑱デイサービス | 166 |
| ㉑若年認知症 | 173 |

| | |
|---|------------|
| ⑳介護職等 | 180 |
| ㉑家族 | 188 |
| ㉒マネジメント | 195 |
| ㉓人材育成 | 202 |
| ㉔評価法 | 209 |
| ㉕心理・心的過程 | 216 |
| ㉖ストレス、負担感 | 224 |
| ㉗その他 | 232 |
| 2) 研究テーマ別傾向 | 240 |
| (1) 身体介護やターミナルケア等の基本的な介護方法に関する研究の動向 | 240 |
| (2) BPSD への対応、コミュニケーション、若年認知症へのケア、生活支援・ケア全体等の認知症介護手法に関する研究の動向 | 245 |
| (3) 環境支援の方法に関する研究の動向 | 248 |
| (4) 人材育成や施設マネジメントに関する研究の動向 | 251 |
| (5) 評価法に関する研究の動向 | 254 |
| (6) 家族支援に関する研究の動向 | 259 |
| 2. 研究報告書の総括 | 264 |
| 1) 認知症介護研究・研修センターにおける研究報告書 | 264 |
| 2) 全国自治体における研究報告書・成果物 | 264 |
| 3) 関連団体における研究報告書・成果物 | 265 |
| 3. 認知症介護研究データベースの作製と普及 | 265 |
| 1) データベース作製 | 265 |
| 2) データベース普及による研究成果の普及 | 266 |
| IV. 考察 | 267 |
| 1. 研究全体における傾向と課題 | 267 |
| 1) 研究内容に関する傾向 | 267 |
| 2) 研究方法 | 269 |
| 3) 研究対象者の傾向 | 271 |
| 2. 研究テーマ別の傾向と課題 | 271 |
| 1) 認知症介護手法に関する研究 | 271 |
| (1) 身体介護やターミナルケアに関する基本的な介護方法に関する研究の傾向と課題 | 271 |
| (2) BPSD、生活支援・ケア全体、コミュニケーション、若年認知症に関する研究の傾向と課題 | 272 |
| (3) 認知症高齢者の環境支援に関する研究の傾向と課題 | 273 |
| 2) 認知症介護に関連する評価法の研究の傾向と課題 | 274 |
| 3) 認知症介護に関連する人材育成・マネジメント研究の傾向と課題 | 275 |
| 4) 認知症介護に関連する家族介護者を対象とする研究の傾向と課題 | 275 |
| V. 結論 | 276 |
| 1. 認知症介護研究の課題と方向性 | 276 |
| 1) 研究全体の課題と方向性 | 276 |
| 2) 研究テーマ別の課題と方向性 | 277 |
| 引用・参考文献一覧 | 279 |
| 研究組織 | 302 |
| 研究テーマ別動向レポート執筆分担 | 303 |
| 巻末資料 | 305 |